



私も小林市も今年で20歳！

—— 新市誕生 20 周年特集 ——
受け継がれてきた思いを
未来につなぐ

市政の動きトピックス

国スポ・障スポの開催に向けて

大会の機運を盛り上げよう
特別な婚姻届の配布を開始

令和9年の日本のひなた宮崎国スポ・障スポ開催を記念し、市は特別デザインの婚姻届を作成しました。大会に向けた機運を盛り上げようと、職員の発案で誕生したもので、表面と裏面には大会のロゴや市内で実施予定の計7競技のイメージイラストなどをプリント。婚姻届は6月24日から市民課窓口で配布中。思い出に残る特別な婚姻届で、新たな人生の一步を踏み出してみませんか。

学校やサロンなど多様な場所で実施

子どもから高齢者まで楽しく体験
実際の車両で学ぶバス乗り方教室

子どもから高齢者まで、誰もが安心してバスを利用できるよう、市と宮崎交通株式会社はバスの乗り方教室を実施しています。6月23日には上町中区いきいきサロンで、7月17日には細野小学校で開催。教室では実際の路線バスを使用し、乗り方や運賃の見方などについて学びます。教室は地域の集まりや団体を対象とした開催もできます。

●問＝企画政策課 TEL 23-0456



さとおか ひろあき
⑥里岡 広章 さん
ひな
④里岡 姫奈 さん
のりこ
⑤里岡 範子 さん

20年前に撮影された一枚の家族写真。その写真に写る幼い娘に目を細めながら、里岡広章さんは20年の思い出と、これから歩む娘への思いを語り出した――

「夜中に生まれてきたことを今でもよく覚えています。初めての子だったので、産声を聞いた瞬間は、感動とうれしさに涙があふれました。生まれた頃は本当に小さく、抱っこするだけでも私が緊張していました。仕事場である牛舎に一緒に行ったり、夜なかなか寝付かない日は、ドライブに出かけたこともありました。今振り返ると、どれも懐かしく、大切な思い出です。『自分が決めた道は、悔いなくやり切ってほしい』。そんな思いで、毎日、大切に育ててきました。もちろん、楽しい思い出ばかりではありません。中学生の時には、手術を受けるほどの大けががあり、涙を流す姿を見たこともありました。そんな経験をしながらも、元気に成長してくれたことが何よりもうれしい。気付けば、20年はあっという間でした。これからも自分で選んだ道を信じて、悔いなく歩んでほしい。それが親として一番の願いです」

――新市誕生20周年特集――

受け継がれてきた思いを
未来につなぐ

写真の中で無邪気に笑う姫奈さんが誕生した平成18年、旧小林市と須木村が合併し、新しい小林市が誕生しました。初めての子育てに戸惑いながら、小さな命を大切に育ててきた里岡さん夫婦。「どんな子に育っていくのだろう」。そんな期待を胸に、うれしい日も苦しい日も一緒に乗り越えながら歩んできた20年。姫奈さんは今年で20歳を迎え、心身ともに大きく成長しました。小林市も今年で20歳になりました。私たち一人一人がこのまちとともに歩んできた20年。親から子へ、先輩から後輩へと、思いや誇りは受け継がれ、今に至ります。皆さんにとって、この20年ほどのような時間でしたか。忘れられない出来事や、多くの人との出会いなど、大切な時間だったのではないのでしょうか。このまちをつくってきた私たちの思いを、未来の小林市につなぐため、多くの思いに触れていきます。

今月の表紙

新市誕生20周年



今年は、旧小林市と須木村が合併し、新小林市になって20年経つ、節目の年。そこで、新市誕生20周年の周知を目的に、記念ロゴを作成しました。ロゴは、市章の3色を取り入れ、市のシンボルの花「コスモス」が青空と太陽のもとで、凛と咲く姿を表しています。

Kobayashi City 20th History

人とまちが一緒に歩んできた

小林市の 20 年を振り返る

須木村、野尻町との合併、新燃岳の噴火、地域の喜び、新しい施設や学校の誕生。この 20 年、小林市はさまざまな出来事を経験しながら、一步ずつ歩みを重ねてきました。まちの歴史を振り返ると、その一つ一つの出来事は、私たち一人一人の、それぞれの思い出とともにあります。



新燃岳の噴火では、多量の噴石が降り、車のガラスなどが割れる被害が続出。市内各地に、大きな被害をもたらした



野尻町との合併による記念式典の様子



旧小林市と須木村が合併して、新小林市が誕生。平成の大合併による新しい自治体としては、県内で 6 番目で最後の合併となった。3 月 20 日には、市役所本庁舎と須木庁舎で、開庁式を挙。新たにかけかえられた庁舎看板の除幕やテープカットが行われ、新市のスタートを祝った



小林駅 100 周年祭記念式典の様子





小林地区交通安全協会
よしはる じゅり
吉春 寿里 さん

「ただいま」が聞こえる毎日を守るために

「いってきます」と家を出た人が、無事に「ただいま」と帰ってくる。その当たり前の日常を守りたい思いで、17年間活動してきました。これまで、未就学児から高齢者までを対象にした交通安全教室や通学路での街頭指導に取り組んできました。

入社当時に交通安全を教えていた小学生が、中学、高校へと進学し、今でも元気にあいさつしてくれる姿を見ると、活動が続けてきて良かったと感じます。大人になっても、交通安全教室で学んだことを思い出し、安全な行動につながってもらえたら、うれしいです。

私も入社当時は一番の若手でしたが、今では活動の中心を担う立場になりました。これからも街頭に立ち、子どもたちが毎日元気に学校へ行き、無事に帰れるよう見守り続けていきたいです。



爽やかな笑顔で高齢者に交通安全指導を行う勤務3年目の時の吉春さん



ガールスカウト宮崎第14団リーダー
おおでらおとし すずか
大平落 鈴香 さん

自立する心、地域を愛する心を育む

今年で団を発足して20年になります。小林市でも、自立した女性や地域を愛する女性を育てたいという思いで活動を始めました。その思いは、20年たった今でも変わることはありません。

設立当初は少人数でのスタートでしたが、徐々に活動の輪が広がり、多くの子どもたちの成長を支えてきました。活動が続ける中で大切にしてきたのは、子どもたちと一緒に楽しみながら活動することです。ガールスカウトは、学校だけでは学べない経験ができる場であり、子どもたちの居場所にもつながる大切な存在。ここでの経験を糧に、自信を持ち、大人になっても地域や社会で活躍する姿を見ることが何よりの喜びです。

これからも、変わらない思いで子どもたちに寄り添い、一人一人の成長を支えていきたいです。



精力的な活動は幅広く、ガールスカウト日本連盟キャンプ場でも活動



北きりしま田舎物語推進協議会
とみみつ てつお
富満 哲夫 さん

一期一会を大切に、まちの魅力を伝える

協議会の設立から20年間、農業体験や農家民泊の受け入れを続けてきました。市内や都市部の子どもたちに農業やまちの魅力を知ってもらいたいという思いで、多くの生徒を迎え入れています。

受け入れ農家は、設立当初に比べて減少し、高齢化も進んでいますが、子どもたちが食の大切さを学ぶ姿や再びこのまちを訪れる姿を見ることが、活動のやりがいになっています。農家民泊をきっかけに移住した人もおり、一度の体験が人生に影響を与えることもあります。だからこそ、一期一会を大切にしながら、農業やまちの魅力を伝え続けてきました。

この20年を振り返ると、多くの人との出会いが何よりの財産。これからも人と地域をつなぎながら、このまちの魅力を次の世代へ伝えていきたいと思います。



畑で説明をしながら、中学生に食の大切さを伝える富満さん



このまちを支えて――

「このまちを支えたい」。その思いを胸に、それぞれの場所で小林市を支えてきた人たちがいます。地域活動や仕事、日々の暮らしの中で積み重ねてきた確かな歩み。その一つ一つが、小林市の力となり、支えとなってきました。このまちを支えてきた人は、どんな思いで活動続けてきたのか。それぞれの歩みと胸にあるそれぞれの思いを紹介します。

子どもたちの心にスポーツの楽しさの種をまき続ける

子どもたちがスポーツを生涯好きでいてほしい。その思いでクラブ発足から22年間、小学生に陸上の指導を続けてきました。自分が生まれ育った地域の子どもたちの成長を支えてこれたことをうれしく思います。

指導では、子どもたちが自分のやりたい種目を中心に組み立てよう支えてきました。さまざまな種目に触れることで、スポーツの楽しさを知り、仲間を通じてコミュニケーション力も育っていくと感じています。この20年で、子どもたちへの指導の在り方は大きく変わりました。時代にあった指導ができるよう、コーチ陣と定期的話し合いながら、一人一人に寄り添う

指導を続けてきました。それでも、子どもたちの笑顔や成長を身近で見られる喜びはずっと変わりません。卒業した子どもたちが成長し、中学・高校で活躍していると聞かされた時に、大きな誇りを感じています。特に、かつての教え子が指導者としてこのクラブに戻ってきたことは、とてもうれしいことでした。現在は、教え子3人がコーチとして活動しており、地域で育った子が、今度は地域の子どもたちを育てる立場に。その姿を見ることが、何よりの励みになっています。

これからも、子どもたちが生涯、スポーツを好きでいてくれるよう、その第一歩を支えていきたいと思います。



細野コスモスジュニア 総監督
さかもと ひろやす
坂元 宏康 さん



思いを受け継ぎ、 歩み続ける――

市内を見渡せば、農業やものづくり、そして日々の暮らしの中で、受け継がれてきた技術や信念を胸に、それぞれの道を歩み続けてきた人たちがいます。自分のために、誰かのために、そして未来の小林市のために。今日もこのまちで情熱を燃やし続ける人たちは、何を思い、何を未来につないでいくのか。その歩みと思いに迫ります。

110 年以上の伝統を 未来の一杯につなぐ――



すき酒造株式会社 副社長
うちじま かずひと
内嶋 一仁 さん (38)

地元で愛される焼酎を 目指して

入社当時は、焼酎造りの知識も経験ありませんでしたが、古くから受け継がれてきた技術を持つ父の背中を追い、一つ一つ技術を学び続けてきました。

時には、厳しい指導を受けることもありましたが、今では、その一つ一つが技術を身に付けるために必要



伝統の焼酎造りに励む入社1年目の時の一仁さん

なことだったと思います。当時の須木焼酎は、地元でもまだ広く知られておらず「おいしくない」と言われ、悔しい思いを何度もしてきました。だからこそ「まずは、地元の人に飲んでもらいたい」という思いが強くなりました。

その思いを胸に、親子で品質向上に力を注いできました。手間を惜しまず、一滴一滴にこだわる。そうして積み重ねてきた努力が評価され、品評会で賞を受賞した時は本当にうれしかった。今でもあの時の喜びは、忘れられません。

その後も、二人でがむしやりに走り続けてきました。今では北海道から沖縄まで多くの方から注文をいただくようになりました。その味を支えているのが、創業当時から110年以上受け継がれる甕仕込みと、徹底した衛生管理。伝統とともに、須木焼酎の味を守っています。

伝統を守り新たな挑戦

伝統を守りながらも、新たな挑戦を続けています。今年発売した夏焼酎は、親しみやすい味わいとデザインを採用しました。焼酎を飲む人が減っている今だからこそ、多くの人に手に取ってもらえる焼酎を造り、須木焼酎の魅力を知ってもらいたいと思います。

未来へつなぐ須木焼酎

ここまで成長できたのは、多くの人に支えていただいたからこそ。その感謝を忘れず、今後も地域に愛される唯一無二の焼酎造りに挑戦し続けていきます。何より、この技術を絶やしたくありません。父から受け継いだ技を、次の世代に伝えていきたい。20年後も、この須木の地で焼酎造りが受け継がれ、須木焼酎が小林市の特産品として愛され続けるよう、これからも技を磨き続けていきます。

明治末期から受け継がれる和甕と豊かな自然が育む須木焼酎。その味は、芋本来の優しい甘みと深いコクが魅力で、地元の特産品として親しまれている。店頭には、芋焼酎のほかにも、麦焼酎や栗焼酎など、多彩な焼酎が並び、自分好みの一杯との出会いが楽しめる



酒のキング
有限会社 角畑酒販 店長

かくはた かずひろ
角畑 一弘 さん (67)



すき酒造株式会社 社長

うちじま みつお
内嶋 光雄 さん (67)

親子でつないだ焼酎造り

19歳の時に焼酎の世界に入り、若い頃は、県内の焼酎蔵で蔵子として修業を重ね、先人たちから受け継がれてきた焼酎造りの技術を学んできました。

そして、平成18年にすき酒造へ入りました。当時は、名も売れていない会社でしたので、まさにゼロからのスタート。しかし、振り返れば長い年月をかけながらも、親子二人三脚で歩み続け、全国でも須木焼酎を知ってもらえるようになりました。息子も頼もしく成長し、一緒に焼酎造りができることを何よりうれしく思います。

しかし、今の評価に満足してはいけません。常に上を目指し続けることが大切です。だからこそ、この技術を私たちの代で終わらせてはいけません。次の世代にその技術をつなぎながら、新しい挑戦を重ね、これから先も長く続くすき酒造であり続けることを期待しています。



ば ば だい す け
馬場 大祐 さん (42)

思いを受け継ぎ、歩み続ける

牛を思いやる 心を受け継いで

全国和牛能力共進会で4大会連続日本一の称号を獲得した宮崎牛。小林市は、その宮崎牛の一大産地であり、その生産技術は非常に高い評価を受ける。豊かな自然に恵まれたこの地で、代々受け継がれてきた技術と生産者の情熱が、最高品質の宮崎牛を育む。現在も生産者たちは、その思いと技術を受け継ぎながら、再び日本一を目指して牛づくりに向き合う。

「お前は良い環境で寝れてよかね。牛は寒いところで寝てるとよ。牛も気持ちよく寝かせてやれ」。

今でも忘れられない父の言葉。この言葉をきっかけに牛を見る目も、畜産に向き合う姿勢も大きく変わりました。父から教わったのは技術だけではなく、牛を思いやる気持ちや牛への情熱。その教えが、今の私を支えています。

現在は、肥育だけではなく繁殖にも取り組みながら

より良い牛づくりを目指しています。20年前と比べて、子牛の価格や消費者のニーズは変わってきました。

それでも、牛に対する思いやりは変わりません。一頭一頭の体調を丁寧にしながら、牛と向き合っていきたいと思っています。

父は今でも尊敬する畜産農家であり大きな存在。その父から受け継いだ牛の質を高める技術と牛への思いを絶やしたくありません。

その思いを胸に、これからも安心・安全でおいしい牛を育て、小林市の畜産を未来へつないでいきます。

肉質を競う県畜産共進会では、サシの入り具合を示す脂肪交雑基準で最高数値を記録。卓越した肉質が評価され、グランドチャンピオンに輝く



思いを受け継ぎ、歩み続ける

マンゴーと歩み 産地を守る

豊かな自然に恵まれた小林市は、県内有数のマンゴー産地。とろけるような果肉と濃厚な甘さが魅力の完熟マンゴーは、市を代表する特産品の一つとして知られている。温暖な気候と降り注ぐ太陽の光を受け、生産者たちはその一玉一玉に愛情を注ぐ。現在、市内では27戸の農家が、よりおいしいマンゴーづくりに励んでいる。



おり た っ ば さ
折田 飛翔 さん (32)

私が、マンゴー農家になって10年になります。現在は、父と妻とともにマンゴー栽培に取り組んでいます。就農当時は、慣れない作業から体力的な厳しさを感ずる毎日でした。それでも、父の仕事ぶりを間近で見ながら、一つ一つ技術を身に付けてきました。

正直、若い頃はマンゴー農家にそれほど興味があつたわけではありません。しかし、熱心に栽培に合う父の姿を見て、その思いを受け継いでいきたいと思うようになりました。

4月下旬ごろから始まる収穫期は、心身ともに大変で、毎年おいしいマンゴーを作らなければならぬプレッシャーもあります。それでも、自分たちが育てたマンゴーを食べた人から「おいしい」と言ってもらえた時は、何よりもうれしく、励みになっています。

マンゴーの栽培技術は、年々進化しています。その中には、父が長年の経験の

中で生み出した技術も数多くあります。その技術を大切に受け継ぎながら、よりおいしいマンゴーづくりに挑戦しています。

一方で、おいしいマンゴーづくりのためには、産地を守っていくことが大切です。農家の高齢化や担い手不足の問題は年々深刻になり「10年後、20年後この産地は続いているのか」と不安になることもあります。

だからこそ、私が父から受け継いだ技術や経験を次の世代へつなぎ、小林市のマンゴーの魅力を守り続けていきたいです。

父・長美さんが生み出した栽培技術で育てられるマンゴー。太陽のように鮮やかに色づき、品質にこだわった果実を毎年約47,000個出荷している



折田さんがつくる
マンゴーを愛す
おがわ ともこ
小川 智子 さん

人と人をつなぐマンゴー

知り合いから紹介されて以来、20年近く折田さんがつくるマンゴーを食べ続けています。毎年、親戚や友達、お世話になっている人たちにもマンゴーを送り、遠いところでは秋田県まで届けています。普段は、なかなか会えない人たちとも、マンゴーを通じてつながりを感じられることがうれしいです。折田さんのマンゴーは、人と人をつないでくれる特別な存在。これからも多くの人に味わってもらい、長く愛され続けてほしいと思います。



この節目を、みんなの思い出に

下記の日程で、例年のイベントの充実に加え、今年限りの特別なイベントも開催します。ぜひ会場へ足を運び、この一年ならではの思い出をつくりましょう！

※令和8年6月23日時点（今後、日程などが変更・追加される場合があります）

3月	2月	12月	11月	10月	8月
・こばやし霧島連山絶景マラソン大会（7日）	・小林市郷土芸能フェスティバル（28日） ・みやぎぎッデーマーチこばやし霧島連山絶景ウォーク（27～28日） ・ひいらぎアリーナオープン記念「バスケットボール教室・高校バスケットボール招待試合」	・健幸のまちづくり拠点施設オープン記念「マーチングバンド」（12日）	・小林市未来予想図発表会（6日） ・健幸のまちづくり拠点施設オープン記念×日本のひなた宮崎国スポ・障スポ1年前記念事業「トランポリン演技会」（14日） ・こばやし秋まつり（29日） ・グランドゴルフ大会	・健幸こばやし大運動会〜スポレク2026〜（18日） ・野尻町商工会商業祭	・すき納涼花火大会（8日） ・のじり湖祭（29日）



20周年記念事業への意気込みをインタビュー



のじり湖祭 実行委員長
いへむら つかさ
家村 司 さん (42)

新市誕生20周年という節目の年に、実行委員長として携われることをうれしく思います。今年は花火を例年よりも多く打ち上げたり、地元の小学生たちとコラボした新たな企画など、祭りを盛り上げる企画を多数準備しています。当日は、実行委員一丸となって、市内外の人に野尻の魅力を感じてもらいながら、子どもから大人まで楽しめる祭りにしていきます。



小林市郷土芸能保存会連合会 会長
たわら はるお
田原 治男 さん (82)

3年に1度開催される郷土芸能フェスティバルは、市内の郷土芸能保存会が一堂に会し、伝統芸能を披露します。記念事業として開催される今回は、文化芸能にゆかりのある著名人を招くなど、例年以上に盛り上がる企画を考えています。今回のイベントをきっかけに、郷土芸能を知ってもらい、次の世代に受け継いでいくきっかけになればうれしいです。



永久津中学校3年 生徒会長
にし のむら せいた
西ノ村 晟汰 さん (14)

小林市未来予想図発表会に向けて、修学旅行先で小林市を知っているかなどのアンケートやインタビューを行い、小林市の認知度や印象を調べています。そうした活動を通して、改めてこのまちについて考え、人口減少が進む現状を変えたいという思いが強くなりました。だからこそ当日は、中学生ならではの視点で、未来につながるまちづくりを提案したいです。



- 1_ イベントを盛り上げ、会場を笑顔に包んだ出演芸人の皆さん
- 2_ 宮崎牛などの特産品を求め、多くの人でにぎわったマルシェ
- 3_ お笑いライブのトップバッターとして登場し、会場を一気に盛り上げた蛙亭
- 4_ 記念Tシャツを手にイベントを楽しむ参加者

新市誕生20周年を祝う 記念事業がスタート

新市誕生から20年と大きな節目を迎えた今年、市内各地でさまざまな記念事業が開催されます。

その幕開けとなったのが、市出身のお笑いコンビ・蛙亭のイワクラさんが出演する「蛙亭のハッピーサマールライブ2026」。

今年で5回目となる同イベントは、新市誕生20周年を記念して開催され、当日は、県内外から延べ2千人を超える来場者が訪れました。ライブでは、蛙亭が西諸弁を交えたネタなどを披露し、会場は大きな笑いに包まれました。

また、同会場では小林市の食を楽しむ「ハッピーサマーこばやしマルシェ2026」も開催。小林市産の宮崎牛や焼酎のほか、イワクラさん監修の須木米

のおむすびセットやポップコーンなどが販売され、県内外の人に市の魅力をアピールしました。

さらに、20周年を記念し、蛙亭の2人がデザインに携わった記念Tシャツも販売されました。

イワクラさんは「須木米を県外の人にも食べてもらえてうれしい。これからも小林市を盛り上げられるよ

うなイベントを続けたい」と笑顔。長崎県から訪れた西鍋萌さんは「初めて参加し、小林市のことも知ることができて楽しかった。これからも続けてほしい」と話していました。

たくさんの方の笑顔とにぎわいに包まれたイベントは、新市誕生20周年を祝う記念事業の幕開けにふさわしい一日となりました。

マルシェに出店した人の声



小林まちづくり株式会社
あかぎ なつみ くろき ようこ
㊤ 赤木 夏海さん ㊤ 黒木 陽子さん

マルシェでは、イワクラさん監修のポップコーンを販売し、県内外の人と交流しながら、小林市の魅力を発信することができました。今回のイベントをきっかけに、小林市のファンが増え「また訪れたい」と思ってもらえたら、うれしいです。新市誕生20周年を多くの人と一緒に盛り上げることができたことも、良い思い出になりました。



長年栗づくりに励む
井野 貞実 さん (76)

活気あふれるまちにな
ってほしい

須木地区で20年以上、栗づく
りを続けています。私自身も年
を重ね、傾斜地での作業は大変
になってきました。それでも収
穫の時期になると、市外からも
多くの人たちが手伝いに来てく
れています。そうした人たちがと
のつながりは、長年続けてきた
からこそ築くことができた大切
な財産です。

これからも体が動く限り、栗
園に足を運び、一つ一つの栗を
大切に育てながら、たくさんの人
と交流を続けたい。

そして、いつの日か小林市が
今よりも若い世代でにぎわい、
子どもの笑い声が響き、新しい
命の誕生や新しい暮らしが始ま
る、そんな明るい話題があふれ
るまちになってほしいですね。

世代を超えてつながる
まちに

私の夢は、地元の中学校の先
生になること。その夢に向かっ
て、今は探究活動やボランティア
活動で地域について学びなが
ら、勉学にも励んでいます。地
域の産業や人とのつながりに触
れることで、小林市の魅力を改
めて実感しています。

また、小林市は学生が利用し
やすく学習しやすい施設や、幅
広い世代が交流できる場が充実
していて、とても暮らしやすい
まちだと思っています。そんな小林
市だからこそ、これからも子ど
もから高齢者まで幅広い世代が
交流し、誰もが元気に暮らせる
まちであってほしいです。

私もボランティア活動が続け
て、多くの人と交流し、地域に
貢献していきたいと思います。



小林高校2年
深見 美奈 さん (16)



初めての育児に奮闘中
中窪 来夢 さん (23)

娘が「暮らしたい」と
思えるまちに

今年2月に娘が生まれ、子育
てに取り組んでいます。私は生
まれ育った小林市が大好き。自
然に囲まれ、子育て支援も充実
しているこのまちは、子育てし

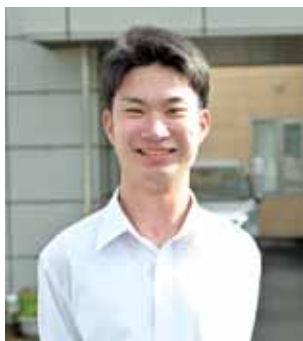
の思い

未来を描きますか。

未来をつくるのは
一人一人
あなたはどんな

このまちの医療を支え
ていきたい

現在は病院での実習で、より
実践的な看護を勉強中です。
現場でしか学べない緊張感や
責任の重さを日々感じしていま
す。実習中、患者さんから「こ



小林看護医療専門学校3年
安藤 星哉 さん (21)

やすい環境だと感じています。
特に生まれてから1カ月は慣
れない育児で大変でしたが、2
カ月訪問で育児について相談で
きたり、子どもを一時的に預け
られる環境が整っていたりと、
子育てをする上で心強い支えに
なっています。

これからも、このまちで子育
てを続けていきます。だからこ
そ、子どもたちが安心して成長
できる環境がこれからも続いて
ほしい。そしていつの日か、娘
も「このまちで暮らしたい」と
思ってくれたらうれしいです。

れからの小林市をよろしくね」
と声を掛けられたことがあります。
その言葉を聞いて「これか
らは私たちが支える番」と実感
し、小林市で働きたいという思
いがより強くなりました。

卒業後は、市内の病院で働く
ことが決まっています。私は人
と話すことが好きなので、患者
さん一人一人との会話を大切に
しながら、不安な気持ちに寄り
添える看護師になりたいです。
小林市の医療を支えていける
看護師になれるよう、一歩ずつ
成長していきたいです。



ファミリーショップたじり 店長
山川 伸 さん (40)

子どもたちが帰ってき
たくなるまちにしたい

「地元のために何かをしたい」
と思い、約15年前に実家の店を
継ぎ、営んでいます。須木の台
所として、日用品から食材まで
幅広くそろえ、地域の皆さんの
暮らしを支えています。

この店は買い物をするだけで
なく、気軽に交流できる場所。
そんなお店を続けることが、地
域を支えることにつながると感
じています。

地域が変わっていく姿を見て
きたからこそ、生まれ育ったこ
の地域を守り、次の世代へつな
いでいきたい。これからも、お
店や地域活動に積極的に関わり
ながら、子どもたちが「地元の
ために何かをしたい」「いつか
帰ってきたい」と思えるまちを
つくっていききたいです。

生まれ育ったまちを
守り続けたい

生まれ育ったこのまちを守り
たいという思いを胸に、市民の
生命と財産を守るため、約15年
間消防団活動が続いています。

最近では、高齢化の影響で捜
索活動に出動する機会が増えて
きたように感じます。危険な現
場を経験したこともあります
が、このまちを守りたい思いは
今も変わりません。消防団の出
動がないことが何よりですが、
いざという時には、市民の皆さ
んから安心して頼ってもらえる
存在でありたい。

これからも日頃の訓練を重
ね、地域の安全を支えていきま
す。安心・安全に暮らせるまち
を次の世代へ引き継いでいくこ
とが、私たち消防団の役目だと
思っています。



消防団第10分団第5部 部長
相牟田 泰章 さん (45)

「小林市の人や自然、ふらっと散歩ができるこの環境が好き——」。

今年20歳を迎えた里岡姫奈さんが、何気なく発した一言。その言葉には、生まれ育ったこのまちへの深い愛着が滲む。

新しい小林市とともに歩み始めた彼女の20年は、決して平坦な道ではなかったはず。それでも、両親や多くの人に支えられ、前を向き自分の人生を一步、また一步と歩んできた。幼い頃、両親に抱きかかえられていた女の子は、今、力強く自分の足で自分の道を歩む。

「自分が決めた道は、悔いなくやり切ってほしい」。

幼いころから父・広章さんにかけられてきたその言葉は、今も姫奈さんの心の支えとなり、背中を押し続ける。そして、その教えを「自分に子どもができて

からも伝えていきたい」と真っすぐに語る。親から子へ受け継がれた思いは、また次の世代へと着実に受け継がれていく。

今回、取材で出会った人たちも皆、それぞれの場所で、それぞれの思いを胸に歩み続けていた。

地域を守りたい。子どもたちの成長を支えたい。地域の魅力を多くの人に知ってもらいたい。

その思いは、誰かに強いられただけではなく、このまちで暮らし、このまちで笑い、このまちで悩み、このまちを愛してきたからこそ育まれたものだ。

一人一人の思いは異なっても、その一つ一つが積み重なり、このまちの20年を築いてきた。そして、それは誰かの支えとなり、また親から子へ、先輩から後輩へ言葉で伝えられ、ときに

は背中を示されながら、受け継がれてきたものだ。目には見えなくても、その思いは、このまちに確かに息づいている。

これから先、人口減少がさらに進み、地域を取り巻く環境は大きく変わっていくかもしれない。それでも、先人たちから受け継がれてきた思いまでは、決して失ってはならない。

新市誕生20周年は、これまでの歩みを振り返ると同時に、次の20年へ踏み出す新たな出発点。

まちづくりに終わりはない。受け継いだ思いを、このまちで行動に変え、また次の世代へつなげていく。その一歩一歩が、このまちの未来にきつとつながる。未来は誰かではなく、このまちを愛する私たち一人一人がつくるものだから。

—— 新市誕生 20 周年特集 —— 受け継がれてきた思いを 未来につなぐ



観覧無料

大迫力の空中演技を見に来ませんか

8月
22・23日

国スポリハーサル大会 宮崎オープン 2026 トランポリン競技選手権大会



いよいよ開幕まで約1年に迫った、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ。本番に向けた機運を高め、円滑な大会運営を目指すための競技別リハーサル大会が今月からスタートします。

リハーサル大会のスタートを切るのは、九州各県から100人以上の選手がひいらぎアリーナに集結するトランポリン競技です。空中を舞う大迫力の演技を見に来ませんか。

■開催日時

8月22日（土曜）～23日（日曜）
・21日（金曜）開会式17時
・22日（土曜）部門別予選9時～
・23日（日曜）部門別決勝9時30分～
／表彰・閉会式15時30分～

■誰でも無料で観覧できます

大迫力の演技を入場無料で観覧することができます。また、8月22日（土曜）は国スポ開幕のちょうど400日前にあたるため、ステージイベントなど、競技を知る人、知らない人も全員が楽しむことができる記念企画を準備中。両日ともに売店やキッチンカーの出店も予定しています。

ぜひ、家族や友人と一緒にひいらぎアリーナへ遊びに来てください。一緒に大会を盛り上げましょう。

■会場 ひいらぎアリーナ

会場を訪れると健幸ポイントがもらえる!

大会会場を訪れると、こばやし健幸ポイント」を1日あたり100ポイント（最大200ポイント）もらうことができます。

最大 **200** P

■トランポリン競技の見どころ

トランポリンは、異なる10種類の技を連続で行い、アクロバティックな空中演技で華麗度や難易度、高さを競うスポーツ。トップレベルの選手は、約6～8メートルの高さまで跳躍し、空中浮遊しているような連続ジャンプや宙返り・ひねりなどで観る人を魅了します。また、トランポリンの中心に描かれた赤い十字マークにきちんと着地できるかどうか、採点の重要なポイント。外れてしまった際、次の跳躍でどう体勢を立て直すかといった駆け引きも見どころの一つです。



リハーサル大会スタート！ 期間中は会場施設を利用できません

市内で今年度開催されるのは3競技。大会期間前後は会場施設などが使用できません。施設等が使用できない期間は前後する場合がありますので、ホームページなどで随時お知らせします。

競技名	会場施設等	使用できない期間	大会期間
トランポリン	・ひいらぎアリーナ	8月19日水 ～24日月	8月22日土 ～8月23日日
ウエイトリフティング	・文化会館 ・中央公民館	11月9日月～28日土 11月16日月～24日火	11月19日木 ～11月23日月
バレーボール	・ひいらぎアリーナ ・市民体育館 ・中央公民館	令和9年2月10日水 ～15日月	令和9年2月13日土



7月
11・12日

新アリーナに歓声響く！ こばやしバレーボールフェスタ 2026

トップ選手のプレーにアリーナ中が大熱狂！
市政20周年や新アリーナのオープン、宮崎国スポ・障スポ開幕1年前を記念し、7月11日と12日にこばやしバレーボールフェスタ2026を開催しました。特に熱気を帯びたのが、大学バレーで全国大会4連覇を誇る鹿屋体育大女子バレーボール部と県高校選抜チームによる招待試合。全国レベルの白熱したプレーに、会場からは大きな歓声が湧き起こりました。元日本代表の新鍋理沙さんのトークショーやスポーツ少年団向けの教室なども大盛況。国スポ開幕に向け、地域の熱が一段と高まる2日間となりました。

7月
8日

国スポ・障スポ小林市実行委員会第3回総会 市内開催競技の将来有望選手「みらいアスリート」を紹介



若きアスリートたちが競技への想い語る
7月8日、国スポ・障スポ実行委員会第3回総会が開催され、大会準備の計画などが承認されました。総会後には、市内開催競技で今後の活躍が期待される「みらいアスリート」5人のトークショーを実施。小中高生の選手らが競技の魅力や来年の大会に向けた熱い意気込みを語りました。オール小林で地元選手たちを応援しましょう。

国スポまで 障スポまで
421日 / **448**日
※令和8年8月1日時点

いよいよ始まるリハーサル大会
行こうよ！

「国スポ・障スポ」

市内各地で関連イベントが開催され、開幕への期待感が高まる「宮崎国スポ・障スポ」。本号では、まちなか熱気を写真で振り返るとともに、いよいよ今月開催されるトランポリン競技リハーサル大会の情報をお届けします。

●国スポ・障スポ推進室 TEL 27・3325



Photo Report

魂燃ゆる 火消し

令和8年度小林市夏季特別点検・消防操法大会

団員総勢300人が
訓練の成果を披露

7月5日、小林市夏季特別点検・消防操法大会を消防訓練広場で開きました。消防用機械器具の取り扱いや操作技術を競う操法競技ではポンプ自動車の部と小型ポンプの部に9チームが参加しました。

競技中、大雨に見舞われる場面もありましたが、過酷な環境下でも迅速かつ確実な消火活動ができることを証明するように、団員らは息のあった連携で火点を狙い放水。

火災想定訓練披露会も行われ、万全の火災防衛に向けた備えを確認しました。

〔以下、結果（1位～3位）〕
ポンプ自動車の部

優勝：第10分団第6部

（三ヶ野山）／第2位：第1分団第4部（小林中央）

第3位：第1分団第5部（小林中央）

小型ポンプの部

優勝：第3分団第2部（西小林）／第2位：第7分団

第5部（奈佐木）



ひいらぎアリーナで 新市誕生 20 周年記念事業を実施

……1,000 万円（地方創生課）

新市誕生 20 周年とアリーナオープンを記念して、市ゆかりの著名人等を招いたエンターテインメント性の高いスポーツイベントを開きます。



全国和牛能力共進会に向けた支援

……543 万円（畜産課）

「和牛のオリンピック」と呼ばれる、全国和牛能力共進会が令和 9 年 8 月に開催されることから、5 大会連続の内閣総理大臣賞の受賞を目指して、出品対策にかかる費用の支援を行います。



いきいき ～健康でいきいきつながり合う笑顔のまち～

市民が健幸で元気に暮らせるまちへ

歩くことの習慣化に重点を置いた取り組みを継続するとともに、地域団体や企業が健康づくりに積極的に参加できる環境を整備します。

……1,823 万円（健康推進課）

0～2 歳児の子育て世代を支援

0～2 歳児の子育て世代への経済的負担を軽減するため、子ども一人あたり 3 万円の支援金を支給します。

……2,319 万円（こども課）

南部地域包括支援センターの整備

地域の実情に応じたきめ細かな高齢者福祉の体制構築を目指し、旧高齢者コミュニティセンター南部いりり村に南部地域包括支援センターを設置するために必要な改修などを行います。



……2,084 万円（長寿介護課）

まなび ～生涯を通して学び合い育ち合うまち～

老朽化や災害に備え学校環境を整備

……1 億 6,559 万円（学校教育課）

老朽化対策や今後想定される大規模災害に対応した避難所としての整備を進めるため、トイレの改修や体育館照明の LED 化などを行います。



中学校の給食費の無償化を実施

……4,189 万円（スポーツ振興課）

子育て世代の負担を軽減するため、令和 8 年 9 月分から中学校給食費の無償化を実施します。



文化会館の今後の管理運営に向けて

……1,304 万円（社会教育課）

文化会館の建物の長寿命化の観点から、調査や改修にかかる概算設計を実施します。



「魅力あふれる、輝く小林市」の実現へ

令和 8 年度
分野別予算

今年度の重点事業を紹介



令和 8 年度当初予算は、4 月の市長選挙を控え、義務的経費や継続事業を中心とした「骨格予算」として編成されました。その後 6 月議会で、堀市長が掲げる「魅力あふれる、輝く小林市」の実現に向け、新しい事業を盛り込んだ本格的な「肉付け予算」が可決・成立しました。今月号では、今年度予算の概要と主な事業を、4 つの分野に分けて紹介します。

にぎわい

人も心もワクワク
にぎわうまち

いきいき

健康でいきいき
つながり合う笑顔のまち

まなび

生涯を通して学び合い
育ち合うまち

くらし

豊かな自然と共に
安心して暮らせるまち

にぎわい ～人も心もワクワクにぎわうまち～

新たな農業担い手の確保対策

……5,281 万円（農業振興課）

農林畜産業の担い手を確保するため、農林畜産業に特化した移住支援の新設と研修から就農までの総合的な支援を行います。



市内農畜産物の消費拡大を支援

……425 万円（農業振興課）

市内農畜産物の消費拡大のため、小・中学校給食への市内農畜産物の提供にかかる費用の補助を行います。



ふるさと納税などで特産品の流通を促進

……10 億 4,963 万円（地方創生課）

令和 7 年度に過去最高額の収入となったふるさと納税。今年度も地場産品の流通促進とふるさと納税の増加を図るため、市の魅力を積極的に全国に発信し、小林市ファンの増加を目指し取り組みます。

令和 7 年度ふるさと納税寄付受付額

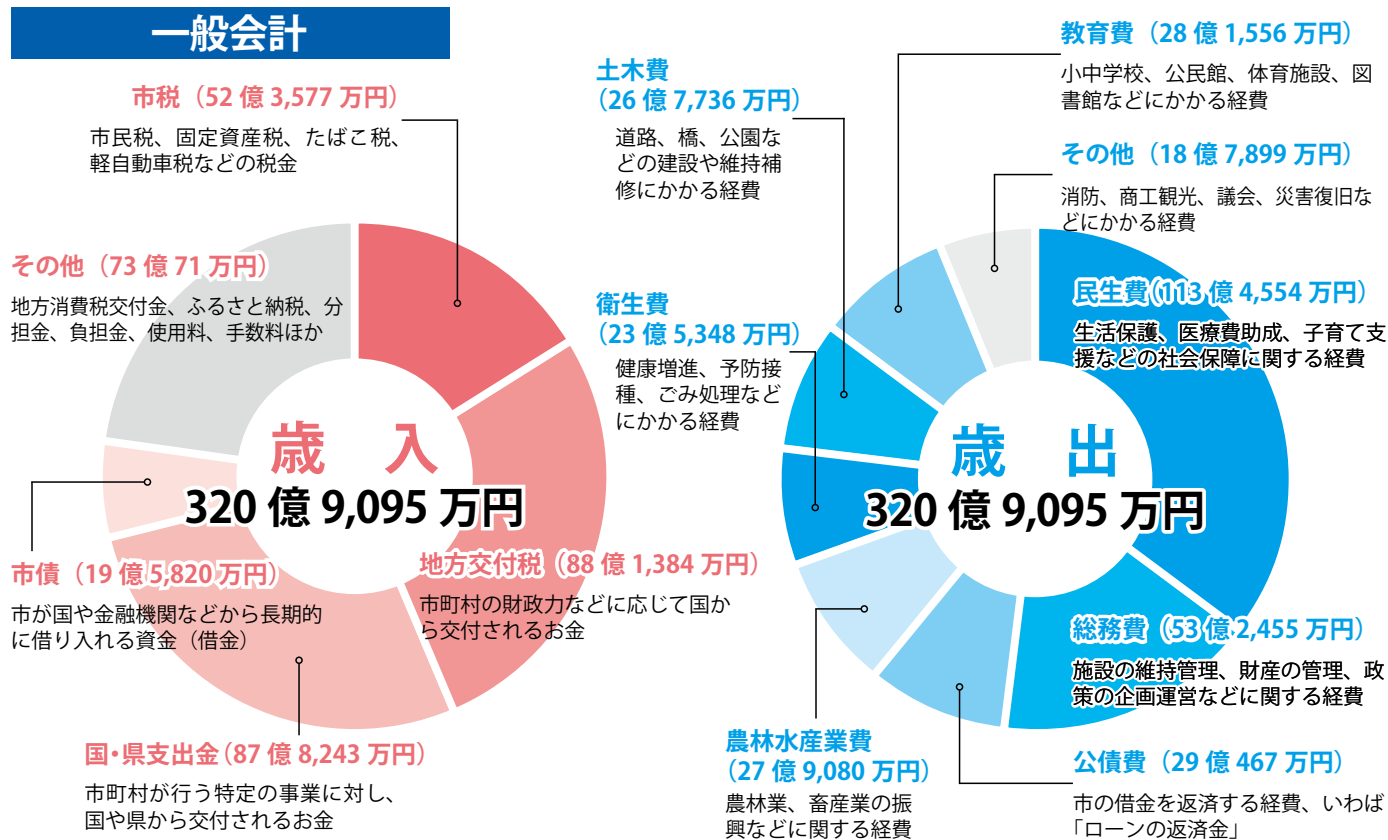
21 億 847 万円



ふるさと納税で集められた寄付は、子育て支援や教育など、市の施策の推進に充てられます。また、地域の魅力発信や地域経済の活性化などにも活用されます。

一般会計予算 320億9,095万円

令和8年度の一般会計予算は、前年度の予算と比較すると、4.1%減少しました。主な理由は、健幸のまちづくり拠点施設が完成したことによる工事費の減小によるものであり、歳入においては、引き続き国・県からの補助金だけでなく、ふるさと納税などの自主財源の確保を積極的に図ることとしています。今後も、真に必要な投資と財政健全化の両立を図り、第3次小林市総合計画に掲げる将来都市像「みんなでなむ笑顔あふれるじょじょんよかこ小林市」の実現を目指します。



各特別会計

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業特別会計	60億3,964万円	介護保険事業特別会計	61億4,809万円
物品購入特別会計	150万円	後期高齢者医療事業特別会計	16億2,008万円
西諸地域介護認定審査事業特別会計	3,404万円		

予算総額

一般会計と特別会計（物品購入特別会計除く）、企業会計（水道事業、下水道事業、農業集落排水事業及び病院事業）の総額は526億8,248万円となりました。

526億8,248万円

一般会計	320億9,095万円
特別会計	138億4,185万円
水道事業	18億17万円
下水道事業	9億5,057万円
農業集落排水事業	3億666万円
病院事業	36億9,228万円

国スポ・障スポ開催の準備を進める

（国スポ・障スポ推進室）



令和9年に宮崎県で開かれる国民スポーツ大会で、小野湖で実施される競技（カヌー、ローイング）に必要な競技場を整備します。

……3億5,862万円



国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の準備を行うとともに、大会に向けた周知・啓発に取り組み、機運醸成を図ります。

……1億9,883万円

Pick Up!

くらし～豊かな自然と共に安心してくらせるまち～

家庭や事業所のLED化で省エネを推進

……1,600万円（生活環境課）

市民や事業者を対象に、蛍光灯などの照明機器から、LED機器へ買い替えを行う費用を一部補助します。



物価高騰の影響を受ける地域活動を支援

……860万円（地方創生課）

自治公民館のLED化や空調設置にかかる費用の一部を補助します。また、区に、最大20万円の支援金を支給します。



ひいらぎスポーツパークこばやしを整備

……1億628万円（建設課）

ひいらぎ野球場の防球ネットを改修するための実施設計や案内看板の設置工事などを行います。また、地元産食材を活用したアスリート弁当の開発や市民向けの健康・情報発信教室を開催します。



小林市野尻防災交流拠点の整備へ

……6,043万円（野尻地域振興課）

野尻庁舎の本館を解体して「（仮称）野尻防災交流施設」を新設するとともに、別館を野尻庁舎として必要な改修を行い、多くの市民が幅広く利用できる「小林市野尻防災交流拠点」を整備するための実施設計等を行います。



Pick Up!

浸水被害の可能性のある河川を整備

……1億7,026万円（建設課）

市が管理する河川のうち、三松川など浸水被害の可能性のある箇所を整備し、災害の発生予防・拡大防止を図ります。



支援物資の安定供給を目指して 佐川急便と災害時における協定締結

災害時に被災者へ食料や生活必需品などの物資を安定供給するため、市は6月22日に佐川急便南九州支店（寺本直晃支店長）と災害時における支援物資の受け入れや配送等についての協定を結びました。協定では、避難所などへの支援物資の配送計画の策定や配送の実施、配送時における被災者の物資ニーズの収集などを想定しています。



締結式で寺本支店長は「過去の甚大な災害においても救援物資の輸送など行ってきた。その経験を生かし、社会的責務を果たしたい」と話しました

長年の子どもへの読書推進活動を評価

6月18日、野尻町読み聞かせグループ「たんぽぽ」が、子どもの読書活動優秀団体として文部科学大臣から表彰され、教育長が表彰状の伝達を行いました。同団体は、平成11年から野尻地区の保育施設や小・中学校で絵本や紙芝居などの読み聞かせを行っています。



地婦連が市長・教育長へ花束を贈呈

6月26日、小林市地域婦人連絡協議会（上原裕子会長）が父の日訪問として、市長と教育長に日頃の感謝を込めた花束を手渡しました。地域を支えるお互いの活動への敬意と感謝を伝える場として、平成14年から毎年続けられている取り組みです。



小林市産宮崎牛の高い品質を証明 JAみやざき枝肉共進会で最高賞

6月23日、ミヤチク高崎工場で開かれたJAみやざき和牛枝肉共進会で、市内肥育農家の岩下盛明さんの去勢牛がグランドチャンピオンに選ばれました。宮崎牛の品質向上を目指し行われる共進会に当日は県内各地から105頭が出品。受賞牛は枝肉の厚みや断面が非常に優れ、サシの細かさや脂の質などが高く評価され、最高賞に輝きました。



共進会では、岩下さんのほかにも、倉菌牧場が優等賞1席、馬場牧場が同3席に入るなど、小林市産宮崎牛の品質の高さを県内外にアピールしました

細野小・中学生が防災を楽しく学ぶ 第2回ほそのっこ防災フェスタ開催

6月25日、細野小・中学校で「第2回ほそのっこ防災フェスタ」が開催されました。今年は、細野まちづくり協議会と小林市SVCセンターの協力のもと、中学3年生が講師として小学生に防災の技術などを指導。参加した児童生徒は、簡易テントづくりや消火訓練など、さまざまなブースを体験しながら、楽しく防災を学んでいました。



上野海空さん（中学3年）は「小学生に分かりやすく教えるのが難しかった。災害時には、今回の訓練で学んだことを生かしてほしい」と話しました

「須木庁舎」を 須木総合ふるさとセンター に移転します

●問＝須木庁舎地域振興課 Tel.48-3130



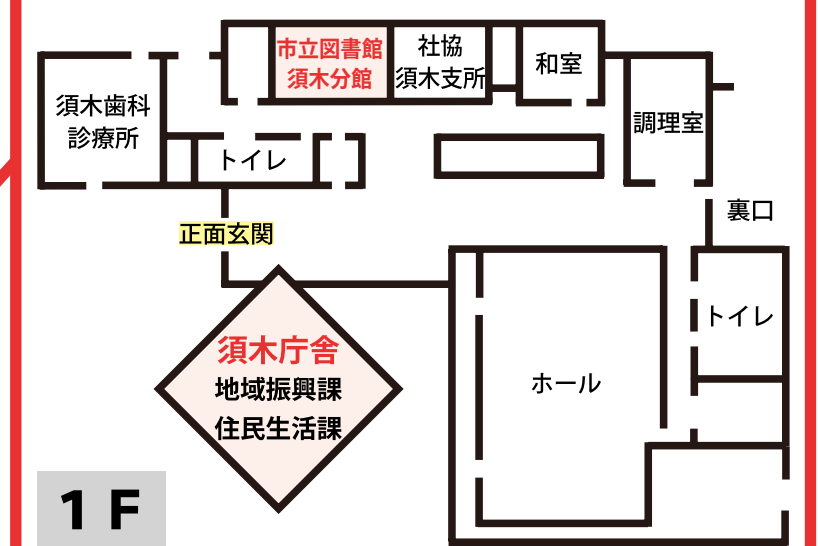
建築から45年が経過する須木庁舎。移転後は当面の間、書庫等として活用されます

安全な地域づくりのため
9月24日から、須木庁舎を須木総合ふるさとセンター1内へ移転します。
昭和56年に旧須木村役場として建築された庁舎は、築45年が経過し、2階部分は耐震性がありません。
今回の庁舎移転は、近年多発している大規模な地震が発生した際に、地域住民や職員の安全を守るために行うものです。
なお、庁舎移転後も各課の直通電話やFAX番号に変更はありません。
これからの、より身近で親しみやすい庁舎として気軽にご利用ください。

庁舎移転イメージ



【須木総合ふるさとセンター配置図（1階）】



課名	グループ名	主な業務	電話番号
須木庁舎（代表） ※地域振興課内			48-3111
地域振興課	地域振興G	区長会、消防防災、市有財産、商工業振興、交通安全・防犯、むらづくり協議会	48-3130
	地域整備G	災害復旧、治山・林道、農業用施設農道、道路・橋りょう、河川	48-3131
	営農G	農業振興、林業振興、農畜産物の流通・加工、集落営農、営農支援、農業後継者、有害鳥獣対策、農地	
住民生活課	住民生活G	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、障がい者福祉、マイナンバーカード、市税、国民健康保険、犬の登録・注射	48-3132

※庁舎移転後も電話番号に変更はありません

永久津中生が高校生と英語で交流 初の中高合同英語学習会を開催

7月13日、永久津中学校で2・3年生を対象に、同校出身の小林高校生と同校教諭を招き、中高合同英語学習会が行われました。これは、高校生と交流しながら英語を学ぶことで、生徒が将来の可能性を広げることを目的に実施されたもの。生徒たちは、高校生を手本に英語でディベートに挑戦するなど、楽しみながら英語力を磨いていました。



有村優希さん(中学3年)は「高校生が英語を好きになった体験談などを聞くことができて楽しかった。今回の授業でより英語が好きになった」と話しました

多世代が集うにぎわいの拠点へ 駅前整備に向け提言書を提出

小林駅周辺の新たな拠点づくりに向けて協議を重ねてきた市民ワークショップが7月10日に市に提言書を提出しました。市と連携協定を結ぶ東京大学先端科学技術研究センターの近藤早映准教授の助言を受けた、幅広い世代の13人が先進地視察などを経て考案したもの。今後、令和10年3月の完成に向け、具体的な整備事業へ移行します。



提言書では、全天候型多目的施設を市民交流の核とし、周辺の商店街へ自然な人の流れを生み出し、まち全体の回遊を促す仕組みが提案されました

犯罪や非行のない社会を目指して 第76回社会を明るくする運動

犯罪や非行のない地域を目指す「第76回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が7月1日に開かれました。小林地区保護司会の川畑静子会長は「誰もが更生保護を当たり前に知り、立ち直りを支え合う輪を広げることが、安心安全なまちづくりにつながります」と語り、支援ボランティアへの第一歩を踏み出してほしいと訴えました。



更生保護女性会の岩下由美会長は「大人が考えるだけでなく、子どもの頃から優しさを育む関わりが、犯罪のないまちを持続させます」と強調しました

自衛隊から笑顔のプレゼント 園児にカブトムシなどを寄贈

陸上自衛隊えびの駐屯地の隊員でつくる曹友会が6月30日、朝日保育園を訪問し、園児28人にカブトムシやクワガタムシ約60匹をプレゼントしました。「子供達に笑顔」を合言葉に、隊員が休日に集めた昆虫を贈るこの活動は今年で8年目。園児らは歓声を上げ、うれしそうにケースの中に入ったクワガタムシを手にとっていました。



同園の坂下エイ子園長は「絵本でしか知らない本物のクワガタを手にすることは子どもたちにとって良い経験になる」と隊員らへ感謝を伝えていました

吉都線の利用促進へ官民連携で草刈り

JR 吉都線の利用促進と維持を目指し、7月7日に小林駅周辺で草の伐採作業を行いました。JR九州宮崎支社や市職員のほか、「吉都線に観光列車を呼ぼう！実行委員会」の市民ら約20人が参加。今後も参加者を募り、官民連携で取り組みを展開します。



ウエイトリフティングで九州一 秀峰高校の遠矢さんが喜びの報告

6月に大分県で開催された第80回全九州高等学校ウエイトリフティング競技大会で優勝した、小林秀峰高校ウエイトリフティング部の遠矢輝選手(3年)が7月14日、市長を表敬訪問しました。遠矢選手は男子56kg級に出場。スナッチ100kg、クリーン&ジャーク105kgのトータル205kgを記録し、見事優勝を果たしました。



遠矢選手は「今回の大会で見つけた課題を改善し、インターハイでは自己ベスト更新と上位入賞を目指して頑張ります」と力強く抱負を語りました

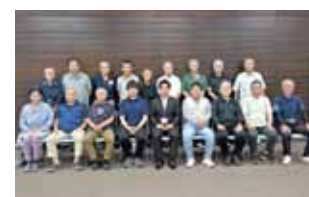
放課後児童クラブにDVD等を寄贈

6月29日、公益財団法人藤井財団(藤井勝典代表)が市内の放課後児童クラブ7カ所に、偉人の人生をアニメ化したDVDなどを寄贈しました。同財団は、子どもたちに夢と希望を持ってもらうことを目的に、全国の教育機関などに寄贈を行っています。



河川浄化等推進員を22人に委嘱

6月30日、河川浄化等推進員の委嘱状交付式が行われ、再任18人、新任4人の計22人が委嘱されました。任期は2年間で、小林市が誇る豊かな水を守るため、ボランティアで河川の水質や環境の定期的な監視のほか、河川浄化の啓発行動などに取り組みます。



MX モバイリング株式会社が 企業版ふるさと納税で70万円寄付

3月、全国で300店舗以上のドコモショップを展開するMX モバイリング株式会社(東京都)が市に70万円を寄付しました。7月2日には市役所で感謝状贈呈式を行い、同社モバイル事業本部第2事業部九州支店の岡本幸三支店長に感謝状を手渡しました。寄付金は市内で開かれた観光イベントの運営事業費として活用されました。



同社は全国で高齢者向けのスマートフォン教室も展開。岡本支店長は「小林市でも実施している。今後も可能な形で市に協力していきたい」と話しました

募集

小林市市民表彰
候補者の推薦受付

市の振興発展や市民生活の向上などに多年尽力し、その功績が顕著な人を表彰します。

◆部門

- ① 地方自治 ② 産業経済
- ③ 教育・芸術・体育・文化
- ④ 公共福祉 ⑤ 市民生活

◆主な選考基準

・おおむね30年以上の功績を有する人

※特例的なものは除く

※刑罰を受けた人や重大な交通事故故違反者などは除く

◆推薦方法

所定の調書と履歴書を提出

◆用紙配布先

企画政策課、須木庁舎地域振興課、野尻庁舎地域振興課、市ホームページ

◆提出締切

8月14日(金曜)

◆表彰式開催日

11月3日(火曜) 文化の日

◆申・問・企画政策課

Tel 23・3470



▼詳細はコチラ

県立産業技術専門校
推薦入試受験者募集

令和9年4月入校の訓練生を募集します。本校は技能者育成のため、県が設置した公共職業能力開発施設です。専門的な知識や技能の習得、多様な資格取得に向けて取り組み、技能者を目指しませんか。

◆受付期間

8月3日(月曜)

◆試験日

9月18日(金曜)

◆場所

県立産業技術専門校(西都市)

◆試験内容

筆記試験(数学)、面接

◆対象者

学校長推薦

高等学校卒業予定者(評定平均値が3.5以上)

◆自己推薦

高等学校卒業業者か同等以上の学力を有する者

◆定員・学科

各科14人程度
木造建築科・構造物鉄工科・電気設備科・建築設備科

◆申・問・県立産業技術専門校

Tel 0983・426501



▼申込方法など詳細はコチラ

講座・催し

生涯学習講座

中央公民館生涯学習講座

歴史探偵

◆日時

9月8日(火曜)

◆日時

10月12日

◆日時

9月15日(火曜)

◆場所

9時~12時

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

◆中央公民館

小林市立病院の特別室料と各種書類発行手数料を改定します

令和8年9月1日から、小林市立病院の特別室料と各種書類発行手数料を改定します。近年の物価高騰等に伴う維持管理経費の増大に直面する中、今後も安全で質の高い医療体制と住民サービスの維持・向上を図るための見直しです。ご理解・ご協力をお願いします。

■1. 特別室料の改定(料金はいずれも税別)

部屋のタイプ	改定前	改定後
特別室A	5,000円	6,000円
特別室B	3,000円	4,000円

■2. 各種発行手数料の改定(料金はいずれも税別)

書類の種類	改定前	改定後
普通診断書	1,200円	2,500円
健康診断書	1,200円	2,500円
死亡診断書	1,600円	4,000円
死体(胎)検案書	3,200円	4,000円
司法関係診断書	3,200円	5,000円
出産・死産証明書	1,200円	2,500円
その他の証明書(簡易なもの)	600円	1,500円
その他の証明書(複雑なもの)	1,200円	2,500円
医学証明書	1,200円	2,500円

■その他 詳細は、市立病院に直接問い合わせるか、市立病院ホームページを確認ください。

●申・問=市立病院 Tel 23-4711

外来魚駆除釣り大会

外来魚駆除を目的とした釣り大会を開催します。たくさん釣りにあそびながら、豪華賞品をゲットしませんか。参加者全員への参加賞もあります。1日のみの参加も大歓迎です。

◆日時(荒天時は翌週に延期)

8月22日(土曜)

8時~17時

8月23日(日曜)

8時~15時

場所 御池 皇子港

対象 中学生以上

※小学生以下は保護者同伴

費用 無料

◆募集部門と検量

・ブラックバス部門

・ブルーギル(ハス含む)部門

釣った魚は検量時間(両日14時~15時)に検量場所へ持ってきてください。

◆表彰・結果発表の日時

8月23日(日曜) 15時~

※2日間の総合の検量結果をもとに、釣れた数が多い順に賞品を贈呈します(同数の場合は重量を加味)

◆問

小林高原野尻漁業協同組合

Tel 23・4668

案内

児童扶養手当等現況届の届け出は忘れずに

8月は児童扶養手当とひとり親家庭医療費助成の現況届の届出期間です。手続きがなかった場合、11月以降の手当の支給や医療費助成が受けられなくなります。

◆対象者

対象者には別途案内文書を送付しています。

※現在、所得制限により手当等を受給していない人も届け出が必要です

※届け出が2年間提出されない場合は、時効により受給資格が喪失されます

◆受付期間

8月3日(月曜)

8月31日(月曜)

8時30分~17時15分

※6日、20日はこども課のみ

19時まで

◆申・問・こども課

Tel 23・1278

・須木庁舎住民生活課

Tel 48・3132

・野尻庁舎住民生活課

Tel 44・1100

食育・地産地消活動の食材費を補助します

食育や地産地消を推進するため、料理教室やイベントなどで消費する市産農畜産物の食材費補助を行います。

◆対象事業

令和9年3月末までに実施される事業で、参加者が10人以上のもの

◆補助額上限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

◆申請期限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

◆申請期限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

◆申請期限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

◆申請期限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

◆申請期限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

◆申請期限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

◆申請期限

700円/人

※合計の補助額上限は3万円

原爆の日と終戦の日
サイレンを鳴らします

- ◆広島原爆の日 8月6日⓪ 8時15分
- ◆長崎原爆の日 8月9日⓪ 11時2分
- ◆戦没者を追悼し平和を祈念する日 8月15日⓪ 12時
- ◆忠霊塔開放期間 8月13日⓪~8月15日⓪ 8時~18時

●問=福祉課 Tel 23-0111

「あなたのパフォーマンスで、まちを元気に！」
市民音楽祭・芸能祭に出演しませんか？

文化会館で開催する、市民音楽祭・芸能祭の出演者(団体)を募集します。初心者から長年活動している人まで、みんなが主役になれる舞台です。音楽・芸能を通じて、一緒に小林市を盛り上げましょう。

	音楽祭	芸能祭
開催日	10月25日(日曜) 13時開演	11月1日(日曜) 13時開演
対象種目	コーラス、ピアノ、吹奏楽、管弦楽、箏、三味線、民謡、大正琴、詩吟など ※カラオケは除く	日本舞踊、剣詩舞、民謡などの邦舞踊やフラダンス、バレエ、ヒップホップ、創作ダンスなどの洋舞踊
演奏時間	団体7分・個人5分 ※曲間の時間含む	8分以内(個人団体問わず1人1回のみ)
注意事項	・出演は1種目につき1人1回(伴奏除く) ・出演の決定と説明会の日程は後日通知 ・芸能祭出演に必要な音源(テープやCDなど)は、各自用意すること	

◆対象 市内在住・在勤・在学の人か
市内に活動の拠点がある団体

◆応募方法 所定の申込書を窓口かFAXで提出

◆応募締切 8月30日(日曜) 17時まで(月曜は休館日)

●申・問=文化会館 Tel 23-7400 / FAX 23-7955

②屋外研修(中央公民館集合)
◆内容 豊臣秀長は小林にも来ていた!小林の戦国時代から見る「豊臣兄弟vs島津三兄弟」の対決の結果はいかに!?
◆参加費 300円(別途保険料)
◆定員 30人
◆申込締切 8月25日(火曜)
◆申込方法 窓口か電話
※申込多数の場合は抽選
※締切後も定員に空きがある場合は受け付けます
◆申・問・中央公民館
Tel 22・3482

◆場所 須木総合ふさとセンター
◆参加費 300円
◆定員 30人
◆申込締切 8月17日(月曜)
◆共通事項
◆対象 市内在住・在勤の人
◆申込方法 窓口か電話
※申込多数の場合は抽選
※締切後も定員に空きがある場合は受け付けます
◆申・問・中央公民館
Tel 22・3482

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内9地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

南校区まちづくり協議会

火ばさみウオーキング、田植えを行いました



南校区まちづくり協議会では、「地域の絆」、「住民自らでできること」、「地域でできること」をみんなで考え、笑顔あふれる地域づくりを進めています。令和8年度も活動がスタートしており、5月17日には、自宅から南小学校まで歩きながらゴミ拾いに取り組み「火ばさみウオーキング」を実施しました。また、6月20日には田植えを実施。子どもたちは、普段あまり触れることのない泥の感触や苗を植える楽しさを味わいながら、食べ物育てる大変さを実感している様子でした。参加者同士の世代を超えた交流も広がり、まさに「笑顔あふれる地域づくり」を体現する一日となりました。

すきむらづくり協議会

須木小学校児童と田植え！



6月18日、須木小学校児童と一緒に田植えを行いました。当日は地域の皆さんが子どもたちを優しくサポート。初めは泥の感触に戸惑っていた子どもたちも、すぐに笑顔を見せ、泥だらけになりながら一株ずつ丁寧に苗を植えていました。自らの手で植えることで、お米を育てる大変さや喜びを学ぶ貴重な時間となったようです。苗は須木の豊かな自然の中で育ち、10月頃に収穫時期を迎えます。収穫後は、地域自慢の「須木米」として販売予定です。子どもたちと地域の皆さんの思いが詰まった美味しい須木米。たくさんの人に味わってもらえる日を楽しみにしています。ぜひお買い求めください。

細野まちづくり協議会

魅力ある地域づくりを小学生と考えました！



7月2日、細野小学校の6年生とまちづくり協議会による意見交換会を開催しました。会では、協議会が日頃どのような活動を行っているかや、地域商店を立ち上げた経緯などを紹介。その後、「地域と学校が協力し、支え合う地域づくりの大切さ」をテーマに意見を交わしました。小学生からは、地域をより良くするための自由で柔軟なアイデアが次々と飛び出し、私たちにとても新たな気づきを得る時間となりました。今後は、児童たちがまとめた提言書を協議会へ提出してもらい、その中から実現可能なものを実際の活動に取り入れ、子どもたちと一緒に魅力あふれる地域づくりを進めていきます。



すきむらんどニュース

夏休みを親子で楽しもう！ 「須木の夏休み」を開催します

大自然の中で思いっきり遊び、美味しいものを食べて、温泉でさっぱり癒やされる。そんな最高の1日を夏の須木で過ごしませんか。

須木で楽しむ 夏休み満喫プラン

- ①すきむら河川プール(無料)
まずは自然の川を活かしたプールで思いっきり水遊び。ひんやり冷たい川の水で、暑さを吹き飛ばしましょう。
- ②フードトラックや
おこめ処お結びやで栄養補給
たくさん遊んでお腹が空い



冷たい清流が魅力の河川プール。(プールは天候により中止する場合があります)

たら、フードトラックのかき氷などでクールダウン。昼食はおこめ処お結びやの美味しいおむすびがおすすめです。

③絶景の「大つり橋」を堪能

すきむらんど大つり橋からは、豊かな自然とままこ滝の絶景を見ることが出来ます。※イベント期間中は、お結びや、フードトラックを利用すると、大つり橋の通行料が無料になります

④遊びのシメは「かじかの湯」

(期間中は小学生以下無料)川遊びの後には、そのまま温泉へ直行。さっぱり汗を流して、笑顔で帰りましょう。※小学生以下無料は、8月13日と14日を除く平日のみ

◆イベント開催期間

8月23日(日曜)まで

◆注意事項

各施設の営業時間などの最新情報は、すきむらんど公式ホームページやインスタグラムで事前にご確認ください。

問 すきむらんど 【株】BRIDGE the gap Tel 48-2480

福祉情報をお届けします 社協タイムズ

地域でつながる子育ての輪 みんなで支え合い、安心して子育てできるまちへ



みんなの子育て広場 (こども食堂)

子どもから高齢者まで、誰でも参加できる地域の交流の場です。みんなで楽しく食事をしており、定期的に季節の行事も行っています。

参加費

- ・子ども 無料
- ・大人 200円程度の材料代
寄付をお願いします



フードパントリー

高校生以下の子どもがいて、生活が苦しいと感じている家庭へ、毎月1回、食料や生活用品等の支援を行い、困り事の相談を行っています。

利用料

無料
※児童扶養手当や就学援助受給者、非課税世帯などを優先



ホームスタート (家庭訪問型子育て支援)

地域の子育て経験者が、産前から小学生のいる家庭を訪問し、悩み事や相談を聴きながら、家事や育児を一緒に行います。子育ての悩み事や困り事など、気軽に相談ください。

訪問頻度

週1回、2時間程度

利用料

無料



問 小林市社会福祉協議会 生活自立相談支援センター Tel 23 - 0338

■地方創生課 Tel 23 - 1148

小林市立図書館
問=Tel 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜

～ 児童書 ～



『イチからつくる蚊とり線香』
編：湯澤 規子、飯尾 裕光
絵：赤池 佳江子
発行：農山漁村文化協会

～ 一般書 ～



『どこ吹く風』
著者：佐藤 正午
発行：岩波書店

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館

◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで

【須木分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 9時～17時

【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

|| 図書館でピクニック気分を楽しもう！ ||

参加 無料
ブッ ク ピクニック
BOOK PICNIC

◆日時

9月12日（土曜）14時30分～16時30分
※14時30分までに集合してください

◆場所 野尻庁舎2階大会議室前

◆定員 10組（30人程度）

◆内容①おはなしの時間

図書館職員による「えほんのよみきかせ」

◆内容②読書の時間

「本のおべんとをあけてみよう」

◆内容③あそびの時間

「カラカラつみき」「布えほん」「紙コップ
タワー」「ぱちぱちくまさんを作ろう」

●申・問=野尻分館 Tel 44-1100（代表）
（内線 273）

小林市×宮崎観光ホテル

宿泊客や利用者に魅力発信 宮観こばやしフェア 2026

8月1日から9月30日までの2カ月間、宮崎
観光ホテルと連携し、「小林市×宮崎観光ホテル
こばやしフェア 2026」を開催します。

小林市産食材を使った特別メニューをホテル内
の各レストランで提供するほか、売店では特産品
を販売します。また、8月1日（土曜）は小林市
産宮崎牛のサイコロステーキ、9月1日（火曜）
には旬を迎えるブドウのふるまいを実施。

さらに、宮崎市の花火大会が開催される8月1
日（土曜）には、ホテル内イベントテラスでマル
シェイベントを開催。市内17店舗・団体が出店し、
肉やスイーツ、加工品などを販売します。

多彩な企画で県内外から訪れるホテル利用者に
向けて小林市の豊かな食の魅力をPRします。

●問=地方創生課 Tel 23-1148

宮崎県小林市と宮崎観光ホテルがコラボレーション
MIYAZAKI KANKO HOTEL SPECIAL EVENT
こばやしフェア
・星空とコスモスが彩る高層の夜景、今年の主役はチーズとヨーグルト・
2026.8/1 sat - 9/30 wed

食彩健康 一本一草
小林市の食材を使用した期間限定メニューがフェアに登場！
「ダイワファームのヨーグルト」を使用したデザートも登場！
※大人1人1杯1杯、メニューが変更になる場合があります。

モダンレシテ ディアマニール・ジュ
#ハッシュン2
「ダイワファームのチーズとヨーグルト」をさまざまなスタイルで表現！シェフこだわりのコース料理をご堪能ください。
Raku Fash Diamond & Rouge
TEL.0985-32-5910
～定休日：日曜・ディナー・月曜・火曜～
〈昼〉11:30～14:00
〈夜〉18:00～20:30

8/1(土) 9/1(火)
#ハッシュン1
「宮崎県産のサイコロステーキ」を堪能してください。
※ランチも2階の店内で販売、夜は7時から販売します。
一本一草では、小林市産の「サイコロステーキ」をダイナミックに楽しむ機会も！
TEL.0985-32-5938 〈昼〉11:30～14:30
～定休日：水曜（ランチのみ）〈夜〉18:00～21:00
※12(水)はお盆シーズンのため、ランチも特別営業いたします。

インショップ
#ハッシュン3
サイワファームのチーズとヨーグルトを堪能！
「お通い」のスイーツもご堪能ください。
TEL.0985-32-5915
営業時間 8:30～21:00 食事営業時間 8:00～21:00（7/11～8/31まで）

国際交流員 ロバートのヨラム

「2年目を振り返って」

●問=地方創生課 Tel 23-1148

8月で私が小林市の国際交流員として働き始めて3年目に入ります。さまざまな出来事があったこの1年間を、少し振り返ってみたいと思います。

去年の夏は、刺激的な毎日でした。小学生向けイベントの翌日にはタイへ旅行に行き、ビーチやお寺巡りでリフレッシュ。帰国後は滋賀県へ出張し、ドイツ語の翻訳・通訳講座を受講しました。研修所の近くには琵琶湖が広がり、まるで海のような景色に感動しました。

その後すぐ、宮崎市で合宿を行っていたドイツ陸上競技連盟代表チームの通訳として青島へ向かいました。10日間にわたり、競技場でのサポートや打ち合わせの補助などを担当。「そのやりは飛行機に持ち込めない」といったトラブルもありましたが、日本語とドイツ語で人の役に立てる喜びを感じ、充実した時間を過ごしました。

秋はドイツ語講座や多文化共生イベントに取り組み、冬には1年半ぶりにドイツへ帰国しました。



家族や友人とクリスマスを過ごし、改めて日本とドイツの日常生活の違いに気付かされました。年末には日本に戻り、年越しはこちらで。ドイツのようなパーティーや花火で賑やかに過ごす年越しも好きですが、家でのんびり時差ボケを治すお正月も悪くないと思うようになりました（笑）。

2月には札幌市の雪まつりを楽しみ、4月には鹿児島や都城でオーストリア大使館の方々の通訳を支援しました。仕事でもプライベートでも、日本のさまざまな場所を訪れる機会に恵まれ、とても幸運だと感じています。

こうした経験に恵まれることも、決して当たり前のことではありません。感謝の気持ちを胸に、3年目も引き続きよろしくお願いいたします。

～疲れをためない！今日から始める基本の習慣～

暑い夏を元気に乗り切る！夏バテ予防のポイント



元気の知恵袋

●問=こども課 Tel 23-4319

1 栄養バランスの取れた食事・朝食を食べよう

冷たい麺類だけで済まらず、肉や野菜などを摂取し、栄養バランスの良い食事を心がけましょう。特に朝食は体温を上げ、活動のスイッチを入れるためにも毎朝必ず食べましょう。



2 のどが乾く前にこまめな水分補給を！

のどが渇く前に、こまめに水分を補給しましょう。普段の生活ではミネラルを補える麦茶がおすすめ。大量に汗をかいた場合はスポーツドリンクや経口補水液を上手に活用しましょう。



「体がだるい」「食欲がない」「眠れない」といった不調を感じていませんか。夏バテとは高温多湿の環境に体が対応できずに起こるさまざまな症状のこと。そのまま放置すると体力や免疫力が低下し、熱中症や夏風邪のリスクも高まっています。日々の生活習慣をしっかりと見直し、夏バテを予防しましょう。

だるさや食欲不振は夏バテのサインかも

3 睡眠・休養をとって体をゆっくり休めよう

エアコンなどを使い、室温26～28度、湿度50～60%に整え、しっかりと睡眠と休養をとりましょう。自律神経を乱さないため、就寝1時間前はスマートフォンの操作は控えましょう。



●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

種 類	月 日	場 所	時 間	備 考
休日納付・納税相談窓口	8月16日(日)	ほけん課・税務課窓口	8:30～17:15	※毎月第3日曜日
年金移動相談 ※要予約	8月20日(木)	市役所本館1階相談室	10:00～15:00	予約:都城年金事務所

※年金移動相談は、事前に都城年金事務所(Tel 0986-23-2571)に電話予約をお願いします

その他の相談会や集い(参加希望者は事前に連絡ください)

小林保健所の相談会(場)小林保健所(問)23-3118)	断酒会(西諸支部)	小林こすもす家族会
▼アルコール家族教室(アルコールで悩む本人・家族)	お酒をやめたい人やその家族が、	精神疾患“学び合い”“助け合い”
日8月18日(火曜)時13時30分～15時30分	支え合う自助グループです	“笑い合う”家族会です
▼ひきこもり・こころの健康相談	日8月22日(土曜)	日8月12日(水曜)
日8月25日(火曜)時13時30分～15時30分	時19時30分～21時30分	時13時30分～15時30分
▼わかちあいの会(自死遺族のつどい)	場中央公民館	場市民活動支援センター
日8月27日(木曜)時13時～15時	問Tel 090-7472-4478	問Tel 080-6423-5858

二原遺跡公園公開日

8月16日(日曜)
時間 9:30～11:30

農地移動申請

場所 農業委員会事務局
時間 9時～17時
受付締切日 8月10日(月曜)

西諸県地域消費生活相談窓口
(消費者トラブル相談)

日 平日9時～12時、
13時～16時
場 市民課内
問 ☎23-1179 もしくは
消費者ホットライン ☎188

税・保険料の納付期限

※納期限は8月31日(月曜)です

市県民税 2期
介護保険料 2期
国民健康保険税 2期
後期高齢者医療保険料 2期

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

月 日 曜	種 類	会 場	時 間
8 18 火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階会議室4	10:00～15:00
8 25 火	人権・なやみごと	市役所東館1階会議室4	
9 1 火	人権・行政・なやみごと	須木総合ふるさとセンター	
9 3 木	人権・なやみごと	野尻町保健福祉センター	
8 8 火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階会議室4	

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談 NPO 法人こばやしハートム 月 20時～22時 ☎27-1850

◆お悩み傾聴ダイヤル	下記日時以外		☎0570-783-755
◆こころの電話相談	月～金	9時～19時	☎0985-32-5566
◆NPO 法人国際ビフレンダーズ 宮崎自殺防止センター	日月水金	20時～23時	☎0985-77-9090
◆NPO 法人 宮崎いのちの電話	月水金	21時～4時	☎0570-783-556
	日火木土	18時～4時	

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122

区	8月	9月
水流迫、東方1・2	4	1
真方1・2・3	3	2
南西2・3、通り町	5	3
南西1の西、南西4 緑町	6	4
南西1の東、種子田	10	7
北西1・3、本町	12	8
北西2、坂元	7	9
西町1・2・3 南島田	20	10
仲町、永田町、後川内	21	11
細野2・3、南真方	25	14
細野1、南真方西	26	15
南真方東 上町・上町西	27	16
上町東、上町北 上町中(奇数月)	28	17
西堤、南堤	31	29
北堤	31	30
野尻地区 (第3日曜)	16	20
須木地区 (第4日曜)	23	27

今月のこれは何ごみ?

「LED 電球」



LED 電球は『燃やさないごみ』になります。管が主にプラスチック製で、品番に「LD」、「LDA」、「LDC」などが明記されています。直管タイプは指定袋に入れて袋の取手で直管を巻いて縛るか、テープで固定して出してください。頭は出ても構いません。

●問＝生活環境課 Tel 23-8122

●育児・親子健康日程

問:こども課 Tel 23-4319

種 類	月 日	時 間	会 場
妊婦健康相談 母子健康手帳発行	毎週月曜 (祝日除く)	受付 9:00 ～ 11:30	ひいらぎアリーナ
沐浴体験 (要予約)	8月10日(月)	13:30 ～ 15:30	
キッズフロア	9月2日(水)	受付 9:30 ～ 11:00	
もぐもぐクッキング (要予約)	8月26日(水)	初期 受付 13:15 ～ 13:30	
		中期・後期 受付 14:30 ～ 14:45	
赤ちゃん健康診査	8月27日(木)	※個別に案内しています	
1歳6か月児健康診査	9月3日(木)		
3歳児健康診査	8月13日(木)		

●にここ運動教室(13:30～15:30)

問:社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206

場 所	8月	9月
野尻町保健福祉センター	18日(火)、25日(火)	1日(火)、8日(火)

●健康相談

問:健康推進課 Tel 23-0323

月 日 曜	種 類	会 場	時 間
平日(祝日を除く)	健康相談 (体組成計・血管年齢測定)	ひいらぎアリーナ	8:30～17:15 (要予約)
8 13 木	まちの保健室	コープみやざき 小林店	13:30～15:30
	18 火	まちかど健康相談	
	25 火	まちかど健康相談	
	27 木	まちの保健室	
9 3 木	まちかど健康相談	ゆ〜ぱるのじり	

日曜祝日在宅当番医(原則として9時から17時)

月 日 曜	在 宅 医	電話番号
8 11 火	小林泌尿器科クリニック	25-0505
	整形外科前原病院	23-1711
	池田病院	23-3535
	小林保養院	22-2836
	くすもと内科クリニック	23-1115
	和田クリニック	23-5653
8 23 日	上田内科	23-3377
	立山整形外科医院	22-1717
9 6 日	池井病院	23-4151
	西小林診療所	27-1034

画：友安よーいち
第129話「アイスクリームを一口」



広報紙へのご意見・ご感想を
お気軽にお寄せください



読んだ感想や、こんな情報が知りたい、
この人取材してほしいなどのご意見
を、二次元コードからお寄せください。

心の花びら

出の山恋蜚舞いあやかりたし（小林合歓の会 尾辻和子）
アルバムに生きるあの友夏薊（小林合歓の会 倉田玲子）
夏椿呆けゆく友に明日は我（小林合歓の会 入佐典子）
合歓の花師を偲びゆく住居跡（小林合歓の会 後野美美子）
甌穴を未だ削りて滝となる（からくに句会 中園直子）
園児との仏具磨きや盆用意（からくに句会 山口光子）
風鈴のちりんと過去へ誘へり（からくに句会 押川歌子）
右拳ガッツポーズや甲子園（東脇哲郎）
夜もすがら二人歩きて勿忘草（長友正臣）
輸入品果物野菜多い中
雑草までも見知らぬ草抜く（武ナミ子）

SUKU SUKU

きたばやし らん
北林 来くん

令和8年4月4日生



ぼく、雨の日もだあいすき！♡
小林のじいじ、ばあば遊びに行くね！
保護者：北林千晴

すくすく募集中！

【申・問】

・企画政策課 Tel. 23 - 0456



申し込みはコチラ！

うえとこ じん
上床 仁くん

令和8年2月8日生



初めてのお散歩での1枚♪
毎日パパ、ママに癒しをありがとう。
元気に大きくなってね！
保護者：上床浩樹・上床早紀

<編集後記>

今年は新市誕生から20周年という節目の年。多様な催しがこの1年間で開催される予定です。ぜひ記念事業に訪れ、小林市全体でこの新市誕生20周年を祝いましょう。（榎田）

新市誕生20周年をテーマに特集を作りました。特集を読んでもらい、未来の小林市を考えるきっかけに、つながればと思います。取材に協力いただいた方々、ありがとうございました。（井手平）



小林の「よかとこ」をハッシンしよう！
投稿写真から数点を広報紙で紹介♪

Instagram & 広報こばやし
#ハッシンコバヤシ



▲詳細はコチラ

「ハッシンしたい小林の魅力」を写した写真に「#ハッシンコバヤシ」のハッシュタグを付けて、インスタグラムに投稿しませんか。市内で撮影したものであれば、景色、日常風景なんでもOK。

@n_keinosuke さん



#お笑い #元吉本芸人

@ron_ff さん



#チキン南蛮の日 #小林市ランチ

@akr_hkt36 さん



#ハッシンコバヤシ

人のうごき（小林市の人口）

人口	39,451 人	(- 29、- 954)
男	18,458 人	(- 10、- 350)
女	20,993 人	(- 19、- 604)
世帯	18,417 世帯	(- 3、- 550)

令和8年7月1日現在現住人口（前月比、前年同月比）

現住人口：国勢調査人口（実際に居住している人口）をもとに、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。

火災・救急発生状況

種別	6月	累計	昨年
建物	2	5	-6
林野	0	4	+4
車両	1	2	+1
その他	0	10	+3
救急	140	984	- 177

交通事故発生状況

種別	6月	累計	昨年
人身	5	26	- 23
物損	75	468	+ 51
死者	0	1	+ 1
負傷者	7	28	- 32
全国死者	1,162		(昨年同月比 + 1)



—— 市内のイベント情報 ——

お出かけ日和

●担当課＝商工観光課 Tel. 23-1174

のじりこびあ湧水プール



夏限定の冷たい自然の湧水プールです。大小2基のスライダーや水深40㌢の幼児用プールも完備。家族や友人とぜひ来場ください。

◆期間 9月27日（日曜）まで
※9月は土日祝のみオープン
◆駐車料 無料（プール付近の特設有料駐車場は500円）

第47回すき納涼花火大会



▼シャトルバスの運行情報や雨天・荒天時の情報は公式インスタグラムで確認できます



山々にこだまする大迫力の花火が魅力のすき納涼花火大会が今年も開催。ステージイベントや約30店舗のグルメ出店も楽しめます。

◆日時 8月8日（土曜）
開場17時／花火打上20時
※雨天順延 8月9日（日曜）
■会場 須木中学校運動場

第42回のじり湖祭



▼シャトルバスの運行情報や雨天・荒天時の情報は公式インスタグラムで確認できます



「野尻を元気に！」を合言葉に、来場者全員が笑顔で楽しめる祭りを開催し、地域の未来へ繋げます。

◆日時 8月29日（土曜）
15時30分～／花火打上20時
※小雨決行、荒天時翌日順延予定
◆会場 のじりこびあ
※バスは15時運行開始予定



日本神話の郷 **霧島岑神社**

8月15日(土曜) 11時30分～
戦後81周年戦没者等追悼慰霊祭

小林市細野(夷守) 4937 社務所 Tel 0984-23-0855
(細野中より南へ1.2km直進) 宮司携帯 090-3735-9954

トラクター・重機
トラック・農機具

見積り無料
どこでも
かけつけます!

古くても、壊れてても、不動車でも

どこ
よりも **高く買い取る** ことを目指
しています!!

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、
又は買取額10%UP致します。

TEL:0986-77-9092

農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
アヴァンティ 携 帯:080-3375-9750
FAX:0986-77-9092
https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

よしむら循環器内科クリニック

医療法人 雄信会

よしむら循環器内科クリニック
小林市細野 1606-1 Tel 0984-27-3339

フィットネスカルナ&よしむら整骨院
小林市北西方 177-1 Tel 090-3494-0315

K 株式会社 こさの印刷

小林市梅の天神下(山麓線)
TEL.(0984)27-0050
FAX.(0984)27-0051
E-mail:kzn.o@abelia.ocn.ne.jp

MYAUCHI (有)宮内葬儀社

0120-24-2349

小林市細野 1224 番地 9
TEL0984-22-2349

西町斎場・上町斎場・ラウム会館

九州555インテリアグループ ●営業時間:8時～17時30分

(有)やすかた畳ふすま店

小 林 店 〒886-0007 小林市真方384-10
TEL **0984-22-4566**
FAX **0984-27-4566**

都城三股店 〒889-1914 三股町夢池字前ノ村4178
TEL **0986-36-3820**
FAX **0986-36-8621**

通話料無料 (フリーダイヤル)
0120-18-4566
お電話下されば見積りに伺います(無料)

「大切な方とのお別れをお手伝いいたします」
「大小ご希望に応じたご葬儀をご提案いたします」

※ただいまプリエール会員(割引特典あり)募集中です。
詳しい内容はお近くの斎場または各支店でお尋ねください。

JA みやざき	プリエール小林
フリーダイヤル	☎ 0120-89-0983
プリエール小林 小林斎場	小林市水流迫 644-4 ☎ 23-1084
プリエール小林 野尻斎場	小林市野尻町東麓 1379-1 ☎ 44-0040
プリエール小林 高原斎場	高原町大字西麓 3243-1 ☎ 42-4400

広報こばやしでは、収入確保対策として有料広告を掲載しています。

広告内容は市が推奨するものではありません。掲載している広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。